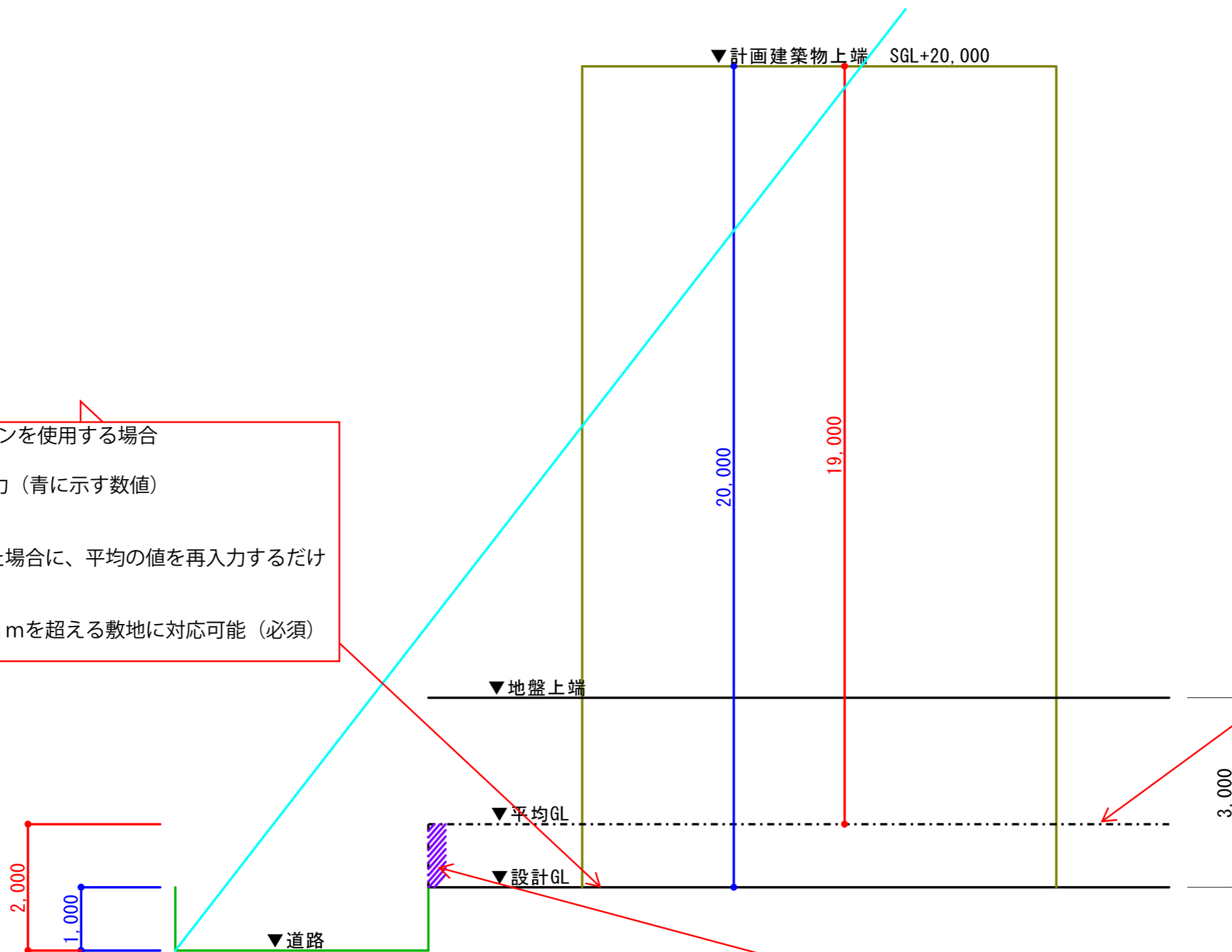


設計GLと平均GLに差がある場合の入力

■平均地盤オプションを使用する場合  
基準は設計GLで入力（青に示す数値）  
(メリット)  
・平均値が変わった場合に、平均の値を再入力するだけでOK  
・敷地内高低差が3mを超える敷地に対応可能（必須）

■平均地盤オプションを使用しない場合  
全ての基準は平均GL±0とする（赤に示す数値）  
(メリット)  
・入力方法としてシンプル  
(デメリット)  
・SGL≠平均GLで、元図面の高さ表記がSGL基準の場合、平均GLからの高さに換算して入力しなければならない  
・平均値が変わった場合には、都度数値の変更が必要になる  
・敷地内に3m以上の高低差がある敷地への対応は不可



(よくある質問)  
Q：いちばん低い設計GLにあわせて入力しておけば安全側なので、平均GLの設定はしなくてもよいのでは？  
A：「安全」の解釈を間違えています。平均地盤が上にある場合は、図の斜線に示す部分が算定に考慮されなければなりません。そもそも、算定に参入すべき部分が未考慮となり正しい算定とは言えません。